エコソリューションズ　環境問題の現在：世界の最新取り組み事例

全 13 巻セット価格　220,000 円　(税込 242,000 円)

各巻本体価格 17,600 円（税込 19,360 円）

CNN 制作「**エコソリューションズ**」 環境問題や地球保全に革新的アイデアと先端技術で取り組む世界各地のイノヴェーター達の事例。進行はイーザ・ソアレス。現在も放送が続く人気番組。本作は 2016-2019 年放送分から。英語音声、チャプタメニュー＆英語字幕表示機能付き、英文チャプタガイド付き。 各巻 11-30 分。原題：Eco Solutions

第 1 巻：**大気汚染：インドのテズプール、ロンドン**　2016 年。12 分。 原題：Air Pollution
貨物輸送路変更、植林、クリーンエネルギーへの転換などにより PM10 数値を下げることに成功したインドのテズプール。大学とロンドン市共同開発の大気汚染スポット通知アプリ CityAirno の運用など。

第 2 巻：**再生可能なエネルギー：ポルトガル　アルケヴァダム**　2016 年。12 分。
原題：Running on Renewables　アルケヴァ多目的プロジェクト：ポルトガルの再生可能エネルギーの継続的供給の取り組み。IRENA によるソーラーパネルの為の MOSAS 貯蔵技術など。

第 3 巻：**持続可能なパーム油生産：マレーシア**　2016 年。11 分。原題：Sustainable Palm Oil
多くの日用品に使用されるパーム油だが生産時に環境に負荷がかかるデメリットも。WildAsia はパーム油生産農家との協働で持続可能な生育方法を提唱。ロレアル社役員は社の方針を語る。

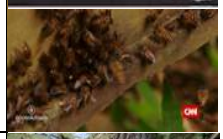
第 4 巻：**乾燥農業の可能性：カリフォルニアぶどう農園**　2016 年。12 分。原題:Dry Farming
灌漑を行わず自然降水のみで営む農業で水資源の節約を図るカリフォルニアの農園。気候変動に伴い農業は減水栽培の方向に向かうだろうか。ビル・デイヴィス教授開発の節水栽培技術など。

第 5 巻：**COP22：2016 年世界気候会議モロッコ　マラケシュにて**　2016 年。11 分。
原題：COP22:The World Climate Conference　気候変動政策に関する新たな国際枠組みの「パリ協定」発効後最初の COP。ゼロカーボン経済を目指す方策は? パン・キムン氏のインタヴューも。

第 6 巻：**フォグキャッチャー：霧から集めた水の活用**　2016 年　12 分。原題:Fog Catcher
チリ、モロッコの砂漠地帯で稼動中のフォグキャッチャー。希少な水資源を再生可能とする新技術により労働時間の削減にも貢献。国際環境団体 FOE のクリスマスツリーの地産地消、鉢植え化の取り組み。

第 7 巻：**環境に配慮した人工肉**　2017 年　11 分。原題：Beyond Meat
森林伐採や温室ガス排出を伴う畜産は環境問題解決の重要なカギのひとつか。先端技術による代用肉の開発が進む。New Harvest による細胞培養農業。植物タンパクからなるハンバーガーパティ等。

第 8 巻：**ミツバチ：ヴェトナムとロンドンの養蜂家**　2017 年　11 分。 原題:Bees
世界中の食料の 1/3 はミツバチの受粉の働きがあってこそ。ハノイのミツバチ研究開発センターでは苛酷な環境下で効率よく蜜を集める種のミツバチを研究。都市が養蜂に適していると語るロンドンの養蜂家。



第 9 巻：**2017 年アースデイ：英国王立植物園キューガーデンから**　2017 年　12 分。
原題：Earth Day 2017　キューガーデン科学部長キャシー・ウイリスは気候変動が植物に与える影響について語る。また、気候変動を学べる機会を若い世代へと提供することの重要性を語る。

第 10 巻：**海洋プラスチック問題：世界海洋デイ**　2017 年　12 分。原題：Plastic in the Ocean
Ocean Cleanup 創立者ボイヤン・スラットは「太平洋ごみベルト」(GPGP)軽減努力を説く。世界周航者エレン・マッカーサーは海洋プラスチック問題に提言。回収システムは大事だが、まず流出を防ぐべきと。

第 11 巻：**環境問題行動委員会**　2017 年作品。11 分。 原題：Environmental Action
2017 年世界環境デイでは政府、企業、個人による環境問題への取り組みの協働の重要性を確認。デザイナーのステラ・マッカートニーはインタヴューでリサイクルプラスチック製の衣服制作の取り組みを語る。

第 12 巻：**再生可能エネルギー最前線**　2018 年作品。24 分。 原題：Renewables on the Rise
未来のクリーンエネルギー：太陽光エネルギー。太陽電池パネル搭載飛行機ソーラーインパルス。テスラ社のリチウムイオン蓄電システム。ゾネン社のコミュニティ規模蓄電池システム。ルイス教授の人工光合成。

第 13 巻：**最先端技術：日本のプラスチック問題**　2019 年作品。23 分。 原題：Japan
プラスチック包装の「おもてなし」を再考する時期が来た。「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」、(株)ニューラル FtoP ダイレクトリサイクル技術、日本環境設計(株)ケミカルリサイクル技術、カネカ生分解性ポリマーなど。

輸入販売：（株）グローバル・リンケージ　**お問い合わせ・ご注文は、株式会社 日本外語協会**
電話 03-5646-5324　メール info@gaigo.co.jp までご連絡ください。

（価格改定 2022-07-01）